

仲間と歩む最初的一步

推奨 ChLv:1

東京タワーダンジョンのギルドで講習を受けていたあなたたちは、その途中で気の合う仲間となるPCたちと出会う。講習を終えた後、腕試しとして全員で東京タワーダンジョンへ挑むことになる。



フォアプレイ

このシナリオは、初期作成のプレイヤー4人で遊ぶことを推奨しています。



導入

PCたちは講習を受けている体で自己紹介を行い、自然な流れでチームを結成する。講習を終えた後、そのまま東京タワーダンジョンへ挑戦することになる。なお、講習を修了した者には【携帯食料】と【ポーション】が人数分配布される。

チームを結成したライバー達は、その場の流れで東京タワーダンジョンに挑むことに。果たして、彼らの運命やいかに…？

●描写

あなたたちは今、東京タワーダンジョンのギルド本部にある講習室に集められています。部屋は広く、壁には過去のライバーたちの写真や、ダンジョン攻略の注意事項が掲示されています。前方には講師役のギルド職員が立ち、真剣な面持ちで皆を見渡しています。

講師は声を張り上げます。

『これからダンジョンに挑む者は、必ず仲間を信頼し、協力すること！ 単独行動は危険です。まずは互いに自己紹介をして、どんな力を持っているかを共有してください。』

講師の言葉に促され、あなたたちは順番に自己紹介を始めます。ここではキャラクターの名前や得意分野、ちょっとした口癖や性格などを語ってみてください。講習の場なので、軽い雑談や質問を交えても構いません。講習が終わると、職員は【携帯食料】と【ポーション】を人数分、机の上に並べて配布します。

その後、PCたちが会場を出る際に、近くのライバーたちの会話が耳に入ります。

「よし、このまま東京タワーダンジョンに挑んでみようぜ」

「初心者でも浅いところならいけるんだっけか」
「出てくるのもゴブリンくらいだし、いってみようぜ」

この会話をきっかけに、GMはプレイヤーへ説明します。東京タワーダンジョンは初心者から上級者まで幅広く利用される有名なダンジョンであり、初心者ライバーにとっては登竜門ともいえる場所です。そして、この流れのままPCたちが東京タワーダンジョンへ挑む展開へと導いてください。



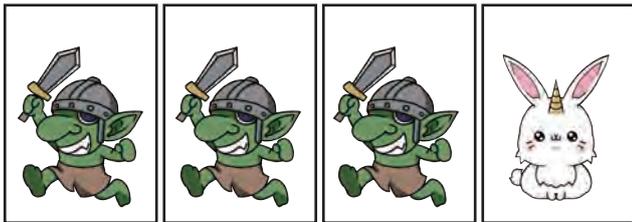
ダンジョンパート

◆部屋 1

●描写：基本ルールブック 86 頁、87 頁のダンジョン描写ランダム表を利用して描写してください。

●遭遇：ゴブリン (95 頁)×3、アルミラージ (101 頁)

登場モンスター

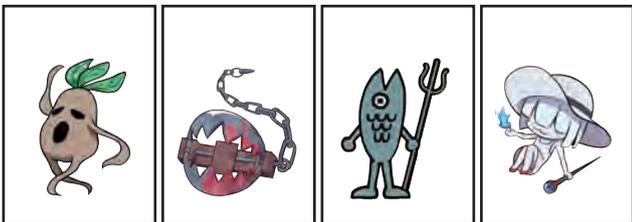


◆部屋 2

●描写：基本ルールブック 86 頁、87 頁のダンジョン描写ランダム表を利用して描写してください。

●遭遇：マンドラゴラ (107 頁)、トラッパー (155 頁)、サハギン (96 頁)、レイス (114 頁)

登場モンスター



◆部屋 3

●描写：まるで学校の校舎のようなラバータイルの廊下が続いている。奥からは先ほど表で会話をしていたライダー達が顔色を変えてこちらに走ってくる。「早く逃げる！特異個体だ！」それだけいうと、彼らはすさまじい速度で逃げて行った。そして、彼らのあとを追うようにモンスターがあなた達の前に姿を現す！

あなたたちはここで特異個体を迎え撃ってもいいし、他の初心者ライダーと共に逃げてもいい。

●遭遇：助けを乞う人々 (155 頁)、包丁ウサギ (102 頁)、スプライト (120 頁)、ゾンビポメラニアン (115 頁) ゾンビポメラニアンは特異個体レベル 1。特異個体スキル【王の肉体】を修得しており、EP が 123 となる。

登場モンスター



結末

●特異個体を倒した

特異個体を討伐したあなたたちの配信は大盛況となり、チャンネル登録者も着実に増えたことだろう。これからのどのような冒険が待ち受けているのかは分からない。だが、君たちの力と絆があれば、どんな試練も乗り越えていけるに違いない。

●無事に逃げおおせた

あなたたちは無事に逃走に成功した。その様子は配信でも流れており、視聴者からは「死者が出なかったこと」への安堵のコメントが多く寄せられた。この逃走は敗北ではない。いつか必ずリベンジを果たすために、あなたたちはさらなる成長を誓うのだった。

最後の戦闘に勝てず、セッションの時間が足りなくなり、やむを得ず撤退する場合、GM は「知り合いをどうするのか」をプレイヤーたちに問いかけてみましょう。そこでのロールプレイ次第で、結末は変化します。

なお、ここに示した結末はあくまでサンプルです。卓ごとにより良い結末があるなら、それを優先してください。ゲームの主役はシナリオではなく、卓でプレイしているあなたたちです。あなたたちが考える結末こそが、最も価値あるものなのです。